

みんなの議会 おおさと

定例会

12月 3月

8月 8月

町花：つつじ

令和7年5月1日

No. 218

あしたに向かって

小学校入学式

- p.2 令和7年度予算
- p.6 24項目の意見を町当局へ提言
- p.11 9名が町政を質す（一般質問）
- p.23 追跡リポート

子育て応援、生活支援へ 令和7年度 一般会計予算 55億3000万円



▲防災コミュニティセンター

災害復興関連事業

- 防災コミュニティセンター及び防災避難
緑地土地確定測量業務 1858万円
- 防災緑地整備工事 5065万円
- かわまちづくり協議会補助金 100万円
- 避難道路整備関連 2億6489万円



▲大郷牛を取り入れた学校給食

子育て応援・教育

- 保育事業負担金 1億9359万円
- 小・中学校給食費・こども園主食費等無償化 3660万円
- 通園・通学バス運行経費 5919万円
- 保育料無償化事業補助金 1323万円
- すこやか子育て医療費助成（0～18歳まで） 3630万円



▲農地の約90%は水稻

農業振興

- 農業振興総合補助金 1000万円
- 多面的機能活動組織交付金 4131万円
- 環境保全型農業組織等交付金 729万円



▲安全安心な運行の継続を

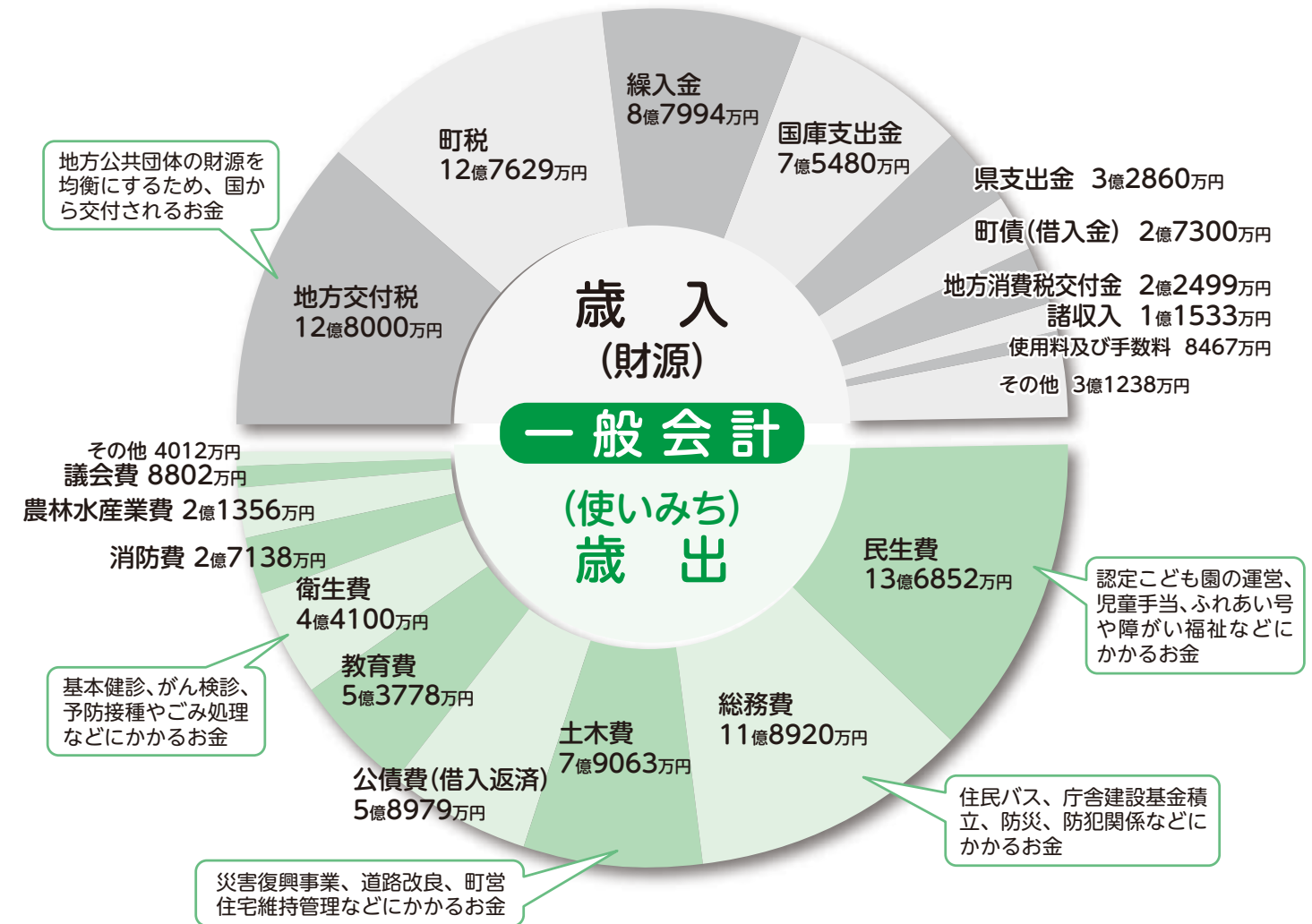
生活環境支援

- 高齢者の外出支援事業「ふれあい号」 608万円
- 住民バス指定管理料・公金徴収業務 4052万円
- ごみ収集・焼却処理 1億7309万円
- 町道維持・除草業務等 2820万円

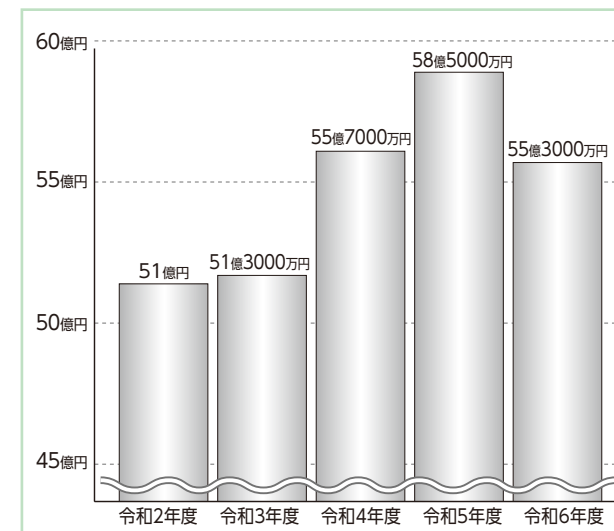


移住定住促進

- 地域おこし協力隊関連費用 877万円
- 若者・子育て世代定住促進奨励金
（固定資産税相当額助成） 1293万円
- 住宅リフォーム助成 250万円



一般会計予算(当初)の推移



特別会計・事業会計予算(対前年比)

国民健康保険 9億7416万円 (5065万円増)	後期高齢者医療 1億953万円 (38万円増)
介護保険 11億7758万円 (3657万円増)	宅地分譲事業 2287万円 (2万円減)
水道事業会計 収益的支出 2億4666万円 (1780万円減)	下水道事業会計 収益的支出 3億6345万円 (716万円減)
資本的支出 1億7986万円 (9356万円増)	資本的支出 1億9198万円 (142万円減)

一般会計・特別会計・事業会計予算 徹底検証



石垣 正博 委員長

令和7年度の予算を審査するため、特別委員会を設置し、6日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。

本会議では委員会審査報告の後、採択し、一般会計および各種会計を可決しました。

町道の修繕

問 内容は。

答 町道中村長崎線の法面の修繕を予定。

消火栓設置工事

問 どこに設置するのか。

答 要望があつた法堂・撫山地区である。

防犯カメラ

問 もっと設置機数を増やされたい。

答 必要に応じて検討していきたい。



▶防犯カメラ増設を

給食センター外壁工事

問 修理が必要な状況なのか。

答 建築後26年が経過し修理が必要。給食センター棟は屋根、外壁、階段の改修、車庫は屋根、外壁の改修を予定。



▶外壁改修予定の給食センター

老人ふれあいの家

問 現状はどうなっているのか。

答 隣接の民間施設が競売中。民間施設がどのように活用されるかによつて、「ふれあいの家」の動向も決まっていく。

ふれあい号

問 利用実態に合わせた運行を。

答 車の買い替え時期に合わせ、検討していく。



▶一層の利便性向上を

通園バス

問 4月から1台の運行に変更となるが。

答 利用者の減少も踏まえ、こども園とバス事業者と協議し、1台2コースとなった。

支倉常長メモリアルパーク

問 冬季もトイレを利用できるようにしてほしい。

答 水道管の凍結による破損もあり冬季は閉鎖していた。水道管の位置など、トイレの構造を変更する場合の費用も含めて検討していきたい。



▶来訪者の利便性向上を

大松沢地区の体育館

問 雨漏りへの対応は。

答 調査費を計上。今後対応していく。

秋まつり

問 内容は。

答 舞台や出店、スポーツ体験会、生涯学習フェスティバルの部、展示など。



▲合併70周年おおさとまつり

井当市

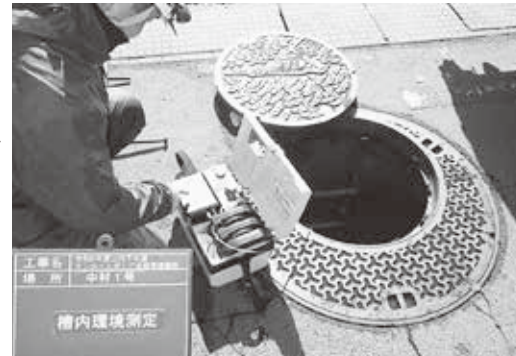
問 予算の計上がされていないが。

答 今後、商工会おおさと支部と話し合っていきたい。

下水管の安全対策

問 下水管の破損をどのようにして把握するのか。

答 下水管が破損した場合は、マンホールポンプの詰まりが発生するので、察知できる。



▶日々の点検が大切

防疫薬剤

問 薬剤配布が令和7年度で廃止される方針と聞いているが。

答 薬剤の利用開始から50年ほど経過。生活環境が変化しており、必要なのかとの意見があつた。令和7年度は協議期間としていく。

ふれあいセンター21

問 「ふれあいセンター21」多目的ホールにエアコンを設置されたい。

答 設置工事費として1千万円ぐらいかかる見込み。財源的に難しい。

こども園 屋根外壁工事

問 費用の負担はどうなるのか。

答 国が2分の1、町と事業者が4分の1ずつ負担となる。

大郷産牛消費拡大

問 消費拡大イベントをより多く開催しては。

答 国からの予算を活用できれば、道の駅などでイベントを行いたい。



予算審査特別委員会で6日間審議し、現地調査を踏まえ、24項目の意見を町当局へ提言した。

強化 ふるさと納税の増収を

魅力ある返礼品の開発などによって、ふるさと納税の増収に積極的に努められたい。

問 収税アップに努力を。
答 返礼品の開発中であり、増収に努める。

推進 図書室の利用者の増加を

図書室の利便性を高め、利用者の増加に努められたい。

問 SNS等での発信は。
答 前向きに検討していく。

強化 交通指導隊・消防団員の確保を

交通指導隊員及び消防団員の人材確保強化に努められたい。

推進 男女共同参画の取り組みを

男女共同参画事業について積極的に取り組まれたい。

強化 税の収納率向上を

さらなる税の収納率向上に努められたい。

推進 子育て支援事業の周知を

育児用品貸借事業及び各種子育て支援事業を町内外に周知されたい。

推進 コンビニ交付システムの利用促進を

コンビニ交付システムの利便性を周知し、さらなる利用を促進されたい。

問 利用件数は。
答 652件。

マルチコピー機
(キオスク端末)
から取得できます！



強化 危険ブロック塀の解消に

危険ブロック塀の早期解消に努められたい。

問 令和6年度の実績は。
答 2件 23.6m。

強化 県道の改修要望を

県道の改修について、早期対応を県に要望されたい。

問 県に強く要望されたい。
答 報告はしているものの、効果が表れない。

推進 無形文化財の継承を

無形文化財の継承支援に努力されたい。

問 後継者が不在となっているが。
答 人材育成は非常に厳しい状況だが、保存会と検討していく。

強化 用地確保で企業誘致を

企業用地を確保し、企業誘致に努められたい。

強化 児童生徒の学力・体力向上を

児童生徒の学力・体力向上に努力されたい。

問 県内での学力は。
答 残念ながら下位の方となっている。

推進 商工会に支援強化を

くろかわ商工会（大郷支部）活性化のため、積極的に支援されたい。

問 商工会の統合により、関わりが減少しているのでは。
答 商工会との連携を図り、どういった還元や支援があるのか協議していく。



▲令和6年度の弁当市

見直し 緑の郷・ふれあい農園の有効活用を

緑の郷・ふれあい農園の今後の有効活用を早急に示されたい。

問 緑の郷を分離しての活用はできないのか。
答 地元業者からの意見を聞き、模索中。

見直し スクールバスの再検討を

利用者に寄り添ったスクールバス運行を検討されたい。

見直し 住民バスの利便性向上を

アンケート等により、住民バスの利便性向上に努められたい。

問 アンケート調査は実施したのか。
答 まだしていない。

推進 かわまちづくり計画を示せ

かわまちづくり事業の明確な計画を示されたい。

問 計画を示されたい。
答 令和7年度着手予定。

強化 ごみの削減を

SDGsの観点から、ごみ減量の啓蒙を図られたい。

※持続可能な開発目標値

推進 災害援護資金貸付金

滞納されている災害援護資金貸付金の徴収に引き続き努力されたい。

推進 各種検診の受診率向上を

各種検診の受診率向上に、より一層努められたい。

強化 鳥獣被害対策を

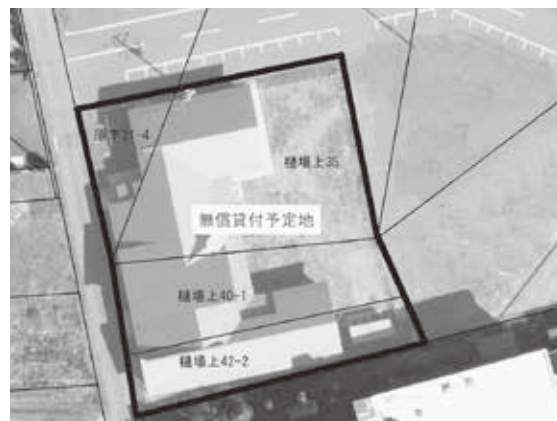
拡大している有害鳥獣の被害対策を強化されたい。

(一般社団法人) めるくまーるへ 土地の無償貸付

【議案第15号】
財産の無償貸付
① 無償貸付する財産
味明字原下21番の4
他3筆。1306㎡
② 貸付相手方
東成田字三嶽7番地
(一社) めるくまーる
③ 貸付期間
令和7年4月1日か
ら5年間。
問 有償にはできない
か。
答 今回は、前回同様
に無償で貸付し、次の
更新時に考えたい。

【報告第1号】
**防災コミュニティセ
ンター変更契約**
消防設備機器、厨房
設備、外構工事の追加
による増額。
契約金額3億979
8万円に493万4千
円を追加し4億291
万4千円とするもの。

反対
鈴木 利博 議員
あのぐらゐの事業を行う
のに、土地を5年で借りる
計画自体に懸念。
利用者が71人。従業員を
17名雇用し黒字であること
を考えると年間46万円で賃
貸すべき、もしくは土地を
購入してもらうべき。



▶5年間無償貸付となる用地
(ふれあいセンター21の南側)

【議案第2号】 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
【議案第4号】 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号
の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

(法改正等に伴い条文・条項を改正するもの)

【議案第5号】 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

(人事院勧告に伴い条例改正するもの)

【議案第6号】 職員の育児休業等に関する 条例の一部改正

(男女ともに仕事・育児・介護を両立できるようにする等の措置を講ずる内容の改正)

【議案第7号】 職員の給与に関する条件の一部改正

【議案第8号】 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

(人事院勧告に伴い、職員の給与を改正するもの)

【議案第9号】 町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正

(法改正等に伴い条文・条項を改正するもの)

【議案第10号】 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(内閣府令の公布、施行に伴う改正)

【議案第11号】 国民健康保険税条例の一部改正

【議案第12号】 介護保険条例の一部改正

(12月の納期限を25日から31日に改め、納期を統一するもの)

【議案第13号】 集合宿泊施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正

(指定管理者不在となり、町がテレワーク施設等を含めた管理運営を行う事となったため)

【議案第14号】 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

(デジタル化に関する条例が追加され、所要の整備を行うもの)

【議案第16号】 大郷町総合計画の策定について

(令和7年度から10年間の大郷町総合計画を策定する為、議決を求めるもの)

【委発第1号】 議会委員会条例の一部改正

(農政商工課を農林振興課と商工観光課に分ける事に伴い改正)

【議発第1号】 議会議員の請負の状況の公表に関する条例

(町に対し請負をするもの又その支配人である場合、請負の状況を公表する等により透明性を確保し、議会運営の公正及び事務執行の適正を図る)

【議発第2号】 議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

(デジタル基本法の改正に伴う改正)

反対

討論

一般会計

改善を要望する

鎌田 暁史 議員

施政方針では、財政は極めて厳しい状況下にあると述べられた。国からの交付金、助成金の有効活用を提案する。県道の早期改修、水道料金の引き下げ、県内で2番目に高い介護保険料の引き下げ、縁の郷の活用プラン検討、小中学校のタブレット更新では古い端末の資産価値を活かす、農業に特化したドローンへの取り組みなど改善を要望して反対する。

総括質疑

鈴木 利博 議員

町有地の有効活用は

問 大松沢診療所跡地など、町有地の有効活用はどのようなか。

答 大松沢診療所跡地は、境界杭を復元し、年度内に売り払う予定。その他の町有地は、利活用の可能性を検討し、有効活用するのか、売却するのかを決定していく。

鎌田 暁史 議員

費用対効果の検証は

問 施政方針では各種事業について費用対効果等検証とあるが、実務ではどのような対応か。

答 毎年予算のヒアリングが補正予算、当初予算のたびにあり、事業に対する実績はどうだったのか各課に尋ね、費用対効果の検証を行っている。

熱海 文義 議員

2割増商品券は

問 施政方針で、生活応援商品券発行事業を継続とあるが、2割増し商品券は。

答 当初は2割増し商品券を予定していたが、国から臨時交付金があったので、今回生活応援商品券に切り換えて、全町民の皆様に配送した。

佐々木和夫 議員

農業費全体の見直しを

問 農業費全体を見直して、担い手の育成、生産体制の強化が図られるようにお願いしたい。

答 国では、物売る出口に補助金をつけて強化していく方針。儲かる農業というところで、担い手の育成を模索していければと思う。生産体制の強化については、町単独の補助金も用意している。

議案採決結果一覧表

議案名 (略称)		採決結果	赤間繁幸	鎌田暁史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	鈴木恵子	金須新一	田中三恵子	熱海文義	石垣正博	高橋重信	石川良彦
報告第1号	専決処分の報告について	報告のみ												
議案第2～14・16号		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第15号	財産の無償貸付について	可	○	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	-
議案第17号	一般会計（第11号）60億2948万円（4億9074万円↓）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第18号	特別会計 国民健康保険（第3号）9億9479万円（6082万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第19号	特別会計 介護保険（第4号）11億6194万円（487万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第20号	特別会計 後期高齢者医療（第2号）1億 905万円（114万円↓）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第21号	補正予算 水道事業会計（第4号） ①収益的支出：2億5111万円（789万円↑） ②資本的支出：1億77万円（86万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第22号	下水道事業会計（第4号） ①収益的支出：3億5983万円（1500万円↓） ②資本的支出：2億810万円（730万円↓）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第23号	令和7年度当初予算 一般会計	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第24号	特別会計 国民健康保険	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第25号	特別会計 介護保険	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第26号	特別会計 後期高齢者医療	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第27号	特別会計 宅地分譲事業	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第28号	水道事業会計	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第29号	下水道事業会計	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第30号	補正予算 一般会計（第12号）61億3640万円（1億693万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
委発第1号	大郷町議会委員会条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議発第1号	大郷町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議発第2号	大郷町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議発第3号	大郷町議会の解散請求に関する弁明書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額 可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※賛否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない

次ページから一般質問

9名が町政を質す！



質問議員	質問件名	掲載ページ
いしがき まさひろ 石垣 正博 議員	1. スマートスポーツパーク（SSP）構想の現状について 2. 新たな土地利用計画で事業推進を	P 12
き す しんいち 金須 新一 議員	1. 下水道管の安全対策は 2. 防災士の育成状況は	P 13
か ま だ あきふみ 鎌田 暁史 議員	1. スマートスポーツパーク（SSP）構想について 2. 小中学校体育館の空調整備について 3. 避難所の「質の向上」について	P 14
あ か ま しげゆき 赤間 繁幸 議員	1. 企業誘致の取組について	P 15
た か は し しげのぶ 高橋 重信 議員	1. スマートスポーツパーク（SSP）構想について 2. 緑の郷について	P 16
さ さ き かずお 佐々木和夫 議員	1. 除融雪業務の現状及び課題等について 2. 増加する遊休農地や耕作放棄地の対応について 3. 令和7年度施政方針について	P 17
す ず き としひろ 鈴木 利博 議員	1. 住民バスの運用について 2. 小中一貫校の取り組みについて	P 18
た な か み え こ 田中三恵子 議員	1. 防犯用具等の補助金について 2. 補聴器利用の支援について 3. 「おくやみハンドブック」作成について	P 19
す ず き けいこ 鈴木 恵子 議員	1. 施政方針（高齢者福祉について）	P 20

議会解散請求に関する弁明書
全員賛成で可決

3月定例会

大郷町議会解散請求に関する弁明書

大郷町議会は、町民の直接選挙で選ばれた議員によって構成され、議会制民主主義を基盤とした、住民を代表する機関として、大郷町的意思決定や執行機関の監視などを行っています。

今回、議会では、町が進めている「おおさとスマートスポーツパーク構想」の実現に向け、令和6年6月の第2回大郷町議会定例会において予算として計上された用地購入費、測量設計業務費を否決し、また7月26日の第5回大郷町議会臨時会に再提案され、再度否決しましたが、これらの審議に関しては、住民の代表として、それぞれの議員が、その内容を審議・討論・採決した結果であり、住民意見や議会制民主主義を履き違えたものではありません。

しかしながら、概算事業費積算に必要とする測量設計業務費は、令和6年9月の第3回大郷町議会定例会に提出され可決し、「おおさとスマートスポーツパーク構想」は現在慎重審議しています。

概算事業費については、当初2月下旬に示される予定でしたが、測量設計業務に時間を要し、4月中旬から下旬に示すと執行部から報告があり、議会としては、その結果を待っている状況にあります。

今後、示される事業費については、議会の議決責任のもと、判断していくことになっています。

そのような中、議会の解散請求は、合理性がなく、町民に不安を与え、町政を混乱させ、議会としても困惑している状況です。

以上のとおり弁明いたします。

令和7年3月19日

大郷町議会

住民投票費に682万5千円

一般会計補正予算（第11号）は、都市防災総合推進事業2億3638万6000円の繰越や、国庫補助金が要望額に満たなかったため防災緑地整備工事3億706万4000円を7年度へ延期などにより、4億9074万1000円を減額し、歳入歳出それぞれ60億2947万7000円となりました。

また、一般会計補正予算（第12号）は、議会解散の是非を問う住民投票経費683万円となったものの、企業版ふるさと納税1億円歳入があったことなどにより、1億692万5000円を増額し、歳入歳出それぞれ61億3640万2000円となりました。

補正予算



きす しん いち
金須 新一 議員

下水道管の安全対策は

適正な管理・点検に努めていく(町長)

問 1月28日埼玉県八潮市において、道路が陥没してトラック1台が転落する事故が発生した。規模の違いはあれ同様の事故が発生する可能性が考えられる。本町の下水道管は安全性が保たれているのか。

答 町長 下水道施設を平成元年から16年に整備し、平成28年度よりストックマネジメント計画を策定し、点検・調査・修繕を実施している。埼玉県で発生した事故を踏まえ、自主的に下水道管路の緊急点検を実施したが、異常は認められなかった。今後も適正な維持管理や点検に努めていく。

問 災害発生時、迅速な重機等の手配は可能なのか。

答 町長 地域防災計画等に基づき、町内建設業者で組織される「大郷地区建設

問 補助金交付要綱を令和6年4月1日に施行し、各行政区に防災士を育成する取り組みを実施してきた。令和7年1月時点において、資格を取得し登録を完了している行政区は2地区にすぎない。現状をどのように捉えているか。

答 町長 令和6年度の補助金交付が4行政区の見込みで、開始初年度ということもあり、防災士候補者の選考が難航したと聞いている。

問 育成が進まない行政区に対して、今後どのように対応していくのか。

防災士の育成状況は

問 ドローンを駆使して点検するということは可能なのか。

答 上下水道課長 本町の管は最小が15センチぐらいなので、一般的にはカメラでの調査と考えられる。

問 購入する土地は、サッカー場でなく農業に関連した、観光果樹園にし、子ども・親・高齢者が集う場所

答 町長 防災士の役割は大変重要と考えており、区長会議や研修会等において、防災士育成の奨励を継続していく。

問 次期防災士を育成する場合は、各行政区同時に資格取得ができる方法はないか。

答 町長 各行政区の事情等もあると思われるので、

現在の実施方法から変更する予定はない。



▲緊急点検「異常なし」(中村)

SSP構想の現状は

早期の業務完了に向け取り組む(町長)

問 昨年3月、匿名で企業版ふるさと納税に1億円の寄付があった。その寄付はSSP構想に利用すると言いが、SSP構想なら何に利用しても良いのか。

答 町長 企業の意向を十分に確認しながら寄付を受け、寄付を行った企業先に対して、経済的な利益の供与にならない活用が必要。

問 19ヘクタールの土地(田・畑)を購入することで、地権者と仮契約を結んでいる。

答 町長 12月で契約の期限が切れた。再契約において129筆全て再仮契約は済んでいるか。

答 町長 124筆について覚書を取り交わした。残る分について、地権者と早期に取り交わす予定。

新たな土地利用計画で事業推進を

問 SSP構想で事業変更することはできないか。新たに国・県の承認を受けて19ヘクタールの土地を利用した新事業を考えては。

答 町長 アンケートの結果では、回答者の半数を超える賛成の意向が示された。また、政策審議会から「事業推進すること」との答申をいただいた。実現に向けてまい進していく。

問 令和6年9月定例会で測量設計費等(5400万円)が可決され4カ月が経過した。計画通り事業は進んでいるか。

答 町長 12月26日現場でボーリング調査を完了。現在、採取した土の土質試験・解析、開発協議に向けた土地利用計画の業務を進めている。業務進捗率は約40%。

一般質問

問 計画を曲げることはできない。果樹園は55ヘクタールの中でできる事業だ。核になるのはSSP計画の事業であることを再認識していただきたい。

答 町長 この計画を曲げることはできない。果樹園は55ヘクタールの中でできる事業だ。核になるのはSSP計画の事業であることを再認識していただきたい。



▲SSP構想事業予定地(中粕川)



あか ま 赤間 議員

企業誘致に必要なことは

企業受け入れの環境整備など…(町長)

- 問** 過去5年間の企業誘致数は。
- 答** 町長 令和5年度に1件の実績がある。
- 問** どのような業種へ企業訪問をしているのか。
- 答** 町長 訪問先の業種については、自動車関連企業、食品加工、リサイクル業、半導体関連等の企業を訪問している。
- 問** 企業誘致に必要と考えているものは何か。
- 答** 町長 情報収集と企業との結びつき、企業進出を受け入れるための環境整備、企業への情報発信、進出企業への支援などが特に必要と考えている。
- 問** 現在の誘致の見込みは。
- 答** 町長 現段階で誘致が見えてきている企業はない。

答 町長 本来であれば、訪問しながら、企業の実況や町に対する要望を把握していかなければならないと思うが、十分できているとは言えない。大和町、大衡村では企業連絡会があるが、町主導で行っているのかを調査しながら、検討していく。

施政方針での 具体的内容は

- 問** 施政方針の中で、本町の地域特性に合致した産業や優良企業を誘致していきたいとあるが、具体的には。
- 答** 町長 今年度、全国の4000社の企業に対し産業集積調査を行った。その結果、製造業が5社、運送業が2社の合計7社ほどが本町へ関心のある回答をしている。現在、その7社へアプローチをしている。
- 問** 町内企業とコミュニケーションを密にすることで、様々な情報を得られるのでは。
- 答** 町長 本来であれば、訪問しながら、企業の実況や町に対する要望を把握していかなければならないと思うが、十分できているとは言えない。大和町、大衡村では企業連絡会があるが、町主導で行っているのかを調査しながら、検討していく。



▲健康食品の受託製造工場（大松沢）



かま だ 鎌田 議員

「SSP構想」立ち止まるべき

構想の実現にまい進していく(町長)

- 問** スポーツX社の計画を精査しているのか。
- 答** 町長 交流人口は他地域や類似施設の実績を基に算定されている。修学旅行や企業研修といった大口利用も想定利用人数に含まれている。計画が実現されることを期待している。
- 問** 議会は関連予算を2回否決した。議決に向き合って、立ち止まる必要がある。
- 答** 町長 これからも町民の理解を得ながら構想の実現にまい進していく。
- 問** 事業費が増えるたびに批判も高まる。
- 答** 町長 5億円かろうが6億円かろうが、公共施設整備基金を一時運用させてもらう。
- 問** 町民の生活を応援する政策を優先すべき。介護保険料の引下げ、奨学金返済

- 問** 体育館の断熱性は。
- 答** 教育長 空調設備を前提にした設計・施工がされていない。
- 問** 熱中症防止の観点から所見は。
- 答** 教育長 児童・生徒の生命を守る観点からも、空調設備は必要であると考え
- 問** 「空調設備臨時特例交付金」を活用し空調整備を進めてはどうか。
- 答** 教育長 空調等設備工事を実施する場合、最大限活用していきたいと考える。

小中学校体育館の 空調整備

- 問** 体育館の断熱性は。
- 答** 教育長 空調設備を前提にした設計・施工がされていない。
- 問** 熱中症防止の観点から所見は。
- 答** 教育長 児童・生徒の生命を守る観点からも、空調設備は必要であると考え
- 問** 「空調設備臨時特例交付金」を活用し空調整備を進めてはどうか。
- 答** 教育長 空調等設備工事を実施する場合、最大限活用していきたいと考える。

避難所の「質の向上」

- 問** 避難所運営マニュアルの作成は。
- 答** 町長 令和2年に策定し、新型コロナウイルス感染症対策として令和4年に更新を行った。
- 問** 「スファイア基準」による取組の目安を満たしているか。
- 答** 町長 簡易トイレは20人に1基の目安を満たす。居住スペースは人数による



▲交流人口80万人は過大（中粕川地区）

が、1世帯4平方メートルとなる。入浴施設は自衛隊等の支援をいただき対応していきたい。

問 食事の質の確保は。

答 町長 各地区の自主防災組織と複数回研修会を行っている。

※スファイア基準：国際赤十字などが1998年にまとめた、被災者の権利と被災者支援の最低基準を定めた国際基準。

- 問** 企業立地促進奨励金の交付や一元的なサポートとあるが具体的には。
- 答** 町長 奨励金は固定資産税を3年間交付するものと、常時雇用者数に応じた奨励金を3年間交付するものがある。進出意向のある企業へ、まちづくり政策課

大郷町の PRポイントは

- 問** ワンストップ窓口となり、様々なサポートをしていく。
- 問** 町のPRポイントは。
- 答** 町長 仙台市の近郊であり、交通環境の良さから大都市へアクセスも可能。土地取引価格が近隣と比較して高くない。また、都市計画区域はあるが、開発規制のハードルが低い。温暖な気候など、様々なポイントがある。





たなか みえこ 議員 田中 三恵子

防犯用具等の購入補助を

利用状況や効果などを確認し検討(町長)

問 本町では特殊詐欺被害防止対策機能付き電話機の購入補助を行っており、対象者は65歳以上となっている。購入補助の実績については。

答 町長 令和4年10月から開始し、4年度は2件、5年度は3件、令和6年度は5件となっている。

問 利用対象者や助成金額、申請から交付の流れなどを分かりやすく示した周知物はあるか。

答 町長 町のホームページや広報紙に掲載している。

問 強盗犯罪が地域性を問わず発生している昨今、防犯カメラ、センサーライト等へ補助金の支援が必要と思うが、町の対策、取り組みは。

答 町長 補助制度は現在ない。近隣自治体での導入

『おくやみハンドブック』作成は

問 ご遺族が必要となる手続きについて、少しでも分かりやすく進められるよう

事例もあるので、利用状況や効果などを確認しながら検討していく。

補聴器利用の支援を

問 町では補聴器購入補助の対象者が65歳以上、非課税世帯だが、申請・利用の実績は。

答 町長 令和4年9月から開始し、利用実績は1件となっている。

問 高度・重度難聴者以外は保険適応されず全額自己負担となる。課税非課税を問わず、18歳以上対象とする等見直しが可能か。

答 町長 難聴を起因とする高齢者の認知症予防と社会参加促進を目的とし、非課税世帯には費用負担が大きいことから、対象者を設定している。対象の拡大は考えていない。



▲家庭用センサーライト

ご遺族に寄り添った丁寧な対応を心がけていく。



すずき としひろ 議員 鈴木 利博

住民バス ドライバー確保の解決策は

雇用改善は重要である(町長)

問 「2024年問題」とおり、ドライバー確保は今後も重大な問題である。解決策として、住民バスドライバーは町の職員として雇用し、賃金アップできるものと考えますが。

答 町長 ドライバーの雇用改善は重要であると認識している。公社との協議の中で改善をはかる。

問 2月時点で、予備の車がないことは問題である。予備の車を準備し、ゆとりある住民バスの運行が、安心・安全につながるのでは。

答 町長 役場の公用車として使用しているマイクロバスと10人乗りハイエースを予備車として利用している。今年から新たに10人乗りハイエースグラウンドキャビンも住民バスとして使用できるよう登録した。

問 全国的にみても、公立の小中一貫校に取り組み自治体が増えている。義務教育9年間を通じて小学校から中学校へのスムーズな接続を図ることは重要である。これまでに小中一貫校教育導入の検討を行ったことがあるか。今後の計画は。

答 教育長 検討については実施していない。近い将来、児童・生徒の減少と施設の老朽化等の現状を踏まえ、新しい学校建設と併せて検討をしなければならぬ時期がくるのではないかと考えている。

問 特色あるまちづくりを考えた場合、小中一貫校を導入するとした場合のメリット・デメリットは。

答 教育長 メリットは、9年間を見通した教育課程の編成や生徒一人一人の情報共有ができること。中1ギャップの解消がある。デメリットとしては、小学校での卒業式や中学校での入学式の節目がなくなること、気持ちの切り替えや進

小中一貫校の取り入れは

一般質問

学する充実感がなくなる。

問 小5から中2までの経年不登校生徒数「中1ギャップ」をどう捉えるか。

答 教育長 令和2年度が11人、令和6年度1月末現在で18人と増加している。「中1ギャップ」については、学習環境や生活環境、人間関係の大きな変化を受

け、学校が楽しくなかったり、勉強についていけなくなるなどによって、いじめや不登校などの問題が発生することと捉えている。



▲少人数に対応できる「ハイエース」

1/29 宮城黒川地方町村議会委員長研修会

場 所 松島町〔パレス松洲〕
研修内容 町村議会常任委員会ならびに議会運営委員会の各委員長を対象に、各町村議会における課題などについて意見交換を実施し、各委員長として資質の向上を図り、議会機能の高揚に資した。



1/15 宮城県町村議会議員講座

場 所 宮城県自治会館
内 容 「住民の代表として議会に向き合うために」 講師 東京大学法学部教授 金井 利之 氏

2/25 スマートスポーツパーク SSP構想に関する調査特別委員会

スポーツX(株)出席の下、SSP事業の進捗状況、変更の説明を受け調査を実施した。

- ・実施中の測量調査業務の進捗率は40％と説明
- ・概算事業費 3億8069万4000円から5億1132万1000円へ増額変更
- ・グラウンド 一部天然芝から全面人工芝へ変更
- ・宿 泊 棟 600人収容が2棟から300人収容が4棟へ変更

議会の主な動き (1/1～3/31)

月 日	用 務	月 日	用 務
1/6	新年祝詞会	2/18	議員全員協議会・議会運営委員会
1/7	黒川消防署出初式〔大和町〕	2/20	宮城県町村議会議長会定期総会〔仙台市〕・宮城黒川地方町村議会議長会定期総会〔松島町〕
1/8	議員全員協議会・第1回臨時会・広報広聴常任委員会	2/25	議会運営委員会・おおさとスマートスポーツパーク(SSP)構想に関する調査特別委員会
1/12	大郷町成人式	3/4～19	第1回定例会
	大郷町消防団出初式	3/4	広報広聴常任委員会
1/15	宮城県町村議会議員講座〔仙台市〕	3/6	大郷中学校卒業式
1/29	宮城黒川地方町村議会議長会委員長研修会〔松島町〕	3/17	議員全員協議会 議会運営委員会
1/30	教育民生常任委員会	3/18	大郷小学校卒業式
2/3～4	宮城県町村議会議長会正副議長研修会〔東京都〕	3/24	広報広聴常任委員会
2/7	総務産業常任委員会・「北方領土の日」宮城県東松島集会所〔東松島市〕	3/26	春の交通安全運動拡大会議
2/13	黒川地方市町村議会連絡協議会議員研修会実行委員会	3/31	広報広聴常任委員会
2/17	黒川地域行政事務組合議会定例会〔大和町〕		

高齢者福祉の改善を

課題に対し、包括的に支援を行う(町長)



鈴木 恵子 議員

問 令和7年度から「地域福祉計画」に基づく各種事業を推進していくとあるが。
答 町長 高齢化や核家族化、社会的孤立などの影響により複雑化・複合化する課題に対し、介護や障害、子育てなど各方面から包括的に支援を行うための計画。
問 「健康おおさと21プラン」については。
答 町長 生活様式の多様ななどが進む中、生活習慣病の予防やライフステージ毎の健康づくりなどに取り組み、「健康寿命の延伸」実現に向け策定した。
問 高齢者の在宅支援については。
答 町長 地域包括支援センターとの連携による在宅介護サービスへの相談支援のほか、軽度生活援助事業や配食サービス事業などを

問 高齢者見守り支援各種事業については、今後どのように改善し、取り組んでいくのか。
答 町長 地域での理解と見守り活動につなげるため、認知症サポーター養成講座を開催するとともに、QRコードを活用した認知症高齢者見守り事業を実施する。また、緊急時の連絡体制確保のためのあんしん見守りネットワーク事業や、救急医療情報キッド配付事業などについて、支援が必要な人に情報が届くように努めていく。
問 あんしん見守りネットワーク事業の利用件数は。
答 保健福祉課長 現在の利用件数は21名で、前年よりは数件増えている状況。
問 高齢者世帯や障害者の方がいらっしゃる家庭の、避難行動支援者名簿を見直しは。
答 保健福祉課長 令和7年度には見直しと整備に努

一般質問

引き続き実施していく。

高齢者の見守り支援を

問 以前のふれあいの家「心郷」のような高齢者の居場所づくりの考えは。
答 保健福祉課長 今回のところ考えられている事業は特にない。

問 縁の郷を高齢者が利用できる施設にできないのか。
答 農政商工課長 今後、どのように活用していくか検討したい。



▲「元気に100歳体操」

追跡リポート



地場産品を利用した給食提供を

これまでの意見・提言等

学校給食に地場産品を一層積極的に取り入れられたい。

農協やおおさと地域振興公社の協力の下、地場産品の利用促進を図っていく。
(議会広報214号 意見提言より)

その後の対応と今後の計画

これまでも、地場農産物の利用に努めてきました。

昨年、大郷産牛肉を使用した学校給食を提供し、児童・生徒から好評でした。

また、大郷町が合併70周年・町制施行65周年を迎えたことを記念して、大郷町で生産された牛肉、じゃがいも、たまねぎ、豆苗、モロヘイヤなど地場産品を多く使用した学校給食を建町記念日(7月1日)に提供しました。

今後も学校給食への地場産品利用推進にあたっては、農協やおおさと地域振興公社と連携し、多くの大郷町産農産物等を使用した学校給食を提供していきたいと思います。
学校給食センター



▲地場産品を多く使用した学校給食

学校のセキュリティを

これまでの意見・提言等

大郷中学校玄関外側のインターホンモニター付きとし、職員室から電磁ロックの施錠・開錠をし、不審者の侵入を未然に防ぎ、安心・安全で学べるようにしては。

不審者対応については、現在モニター付きインターホンに加え、電磁ロックでの施錠・開錠を小・中学校に設置するよう検討している。
(議会広報213号 一般質問より)

その後の対応と今後の計画

大郷小・中学校の児童生徒の安全を確保するため、令和7年3月に玄関設備改修工事を実施しました。改修にあたってはモニター付きインターホンを採用し、自動ロック式の施錠扉を導入することで、不審者の侵入防止を図りました。
学校教育課



▲小学校のモニター付きインターホン

健康づくりの推進を



▲社会福祉協議会会議室にて

【調査の概要】

令和7年1月30日(木)、大郷町社会福祉協議会会議室において、保健福祉課長、社会福祉協議会所長より説明を受け、健康づくり事業について調査した。

【意見】

健康に関する現状と課題について

本町の高齢化率は約40%に達し、国民健康保険医療費も平成28年度から令和4年度にかけて増加傾向にある。国保加入者の特定健診結果によるメタボリックシンドロームの該当者は、約24%、予備軍は約13%となっている。検診会場の工夫や住民ニーズに合った検診機会を引き続き検討し、成果を上げるよう努められたい。

高齢者の介護予防について

- ①高齢者の健康増進と介護予防を目的として開始したいきいき百歳体操は、令和6年度において11団体が実施した。今後も新規実施団体を増やすよう推進を継続されたい。
- ②社会福祉協議会委託事業である元気アップ教室、健康マージャン教室、散歩とLINEを楽しむ会等の事業は、介護予防と生きがいのある生活につながる重要な事業と考えられるので、更なる強化を図られたい。

健康づくり事業に係る社会福祉協議会の取り組みについて

- ①軽度生活支援事業(相談・家事・買い物等)については、住民に浸透していない状況である。周知を強化されたい。
- ②高齢者外出支援事業(ふれあい号運行)については、更なる利用者の利便性向上に努められたい。
- ③物価高騰、ガソリン代高騰の影響で思うような事業が計画できない状況にある。町として課題改善に向けて、支援をされたい。

次回は

「文化財の保存と継承について」を調査します。

住民バスの実態調査



▲役場3階大会議室にて

【調査の概要】

令和7年2月7日(金)、役場3階において、まちづくり政策課長から公共交通について説明を受け、また、おおさと地域振興公社バス事業部において、運行管理者から住民バスの現状について説明を受け、公共交通について調査した。

【意見】

住民バスは、バス5台で8路線の運行をしている。住民バスの運行実績について、令和元年度と比較すると、令和5年度は、利用者数が7.7%減、指定管理料は11.9%増となっている。また、学生を含む定期券購入者は2.8%増であったが、定期券収入額は9.9%減となっている。
●令和5年12月に実施した総合計画に関するアンケート調査においては、住民バスに対し「満足度は低い」が「期待度は高い」という結果であった。

運行管理においては、現在、住民バスの台数は宮城陸運支局の示している台数より少ない。予備車もないことは深刻な問題であり、台数確保が急務であると考えます。

●他産業従事者より賃金が安いことや、有給休暇取得が難しい。過密な運行体系となっていることなどから、乗務員の確保が非常に厳しいとのことである。乗務員の賃金の引き上げや、働き方改革を基とした労働時間の見直しが必要と考えます。

●今後は、住民バス単体として捉える時代ではなく、ふれあい号、スクールバスも含めトータル的な運行の効率化が求められている。AI等を活用し、満足度が高く、住民に寄りそった公共交通の見直しが急務と感じた。

次回は

「企業誘致について」を調査します。

住民の 声



くまがい はやと
熊谷 颯斗 さん
(木ノ崎)

自然が魅力的で あたたかい町

私自身、今年成人を迎え大郷町に住んで20年になります。大郷町は自然がすごく魅力的で、町民の交流も多くとてもあたたかい町だと感じています。

私は、東北学院大学で経営学を学んでいますが、学外の活動としてボランティア活動を行っており、被災地への募金活動や、地域の清掃活動などを行っています。そこでさまざまな地域に足を運び活動を行う中で、多くの学びを得ることが出来ます。

そこで、大郷町の魅力をどのような形で生かせば良いか考えました。私自身、大郷町の広大な自然を生かしたアウトドア施設があったら良いのではと思っています。キャンプやグランピング施設は現在、老若男女問わず人気があり需要があります。そのような施設ができれば大郷町に足を運んでくださる人がもっと増えていくのではないかと思います。大郷町がますます活気のある町になってほしいと心から願っています。

奨励賞

第44回宮城県町村議会広報
選考会において
「みんなの議会
おおさと216号」が
奨励賞を受賞しました。



大船渡市 林野火災義援金

4月7日、令和7年2月岩手県大船渡市で発生した山林火災によって被災された方々の生活を支援するため、大船渡市林野火災義援金を贈りました。

義援金額 12万円

日本赤十字社を通じ被災地支援に



次回定例会

予定

6月3日(火)から
午前10時～
6月6日(金)まで

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube(チューブ)」にて、配信しています。右記のQRコードよりご覧になれます。



編集後記

令和元年、台風19号の影響で本町は大変な被害を被った。復興事業は今年度ようやく完了の見通しとなりました。

国内で自然災害が多発している。時間はかかるものの何とか復興が進んでいる感がある。

今後、人口減少が続いて行く中、果たして災害に對して全て守り切ることが出来るのだろうか。本当に心配するところだ。

この広報が配布される5月は田植えの真っただ中。災害などなく今年も豊作で、皆が笑顔で楽しく暮らせる町であることを祈念いたしております。

石垣 正博

広報広聴常任委員会

委員長 高橋 重信
副委員長 石垣 正博
委員 鎌田 暁史
委員 鈴木 利博
委員 赤間 則幸
委員 金須 新一